

第3回子どもの権利推進リーダー会議の実施結果について

実施日 令和8年6月12日(金)18時から19時30分まで

会場 文京シビックセンター5階 区民会議室C

1 参加者

子どもの権利推進リーダーとして、24人の中高生が参加した。参加者の内訳は次のとおり。

	中学1年生	中学2年生	中学3年生	高校1年生	高校2年生	高校3年生	合計
人数	1人	0人	3人	8人	9人	3人	24人
割合	4.2%	0%	12.5%	33.3%	37.5%	12.5%	100%

2 内容

- (1) 講義：意見を言う意味・意義について
- (2) 条例の啓発物の作成スケジュール・方針について
- (3) パンフレットに掲載する内容について書き出し・発表
「権利が守られていなくて、モヤモヤしたこと」「みんなの意見や行動で何かが変わった経験」
- (4) 啓発ノベルティグッズについて書き出し
- (5) 動画やすごろくの事例視聴

3 当日の様子

参加者は、区職員による説明にも熱心に耳を傾け、パンフレットの掲載内容に関するグループワークも活発に行われた。また、前回のアンケートによりノベルティが決定したため、どのようなデザインや機能にするのか、多数の意見が飛び交った。



子どもの権利条例に関する〇×クイズ



意見を言う意味・意義について



書出し・分類



発表

4 啓発パンフレット掲載内容の検討

パンフレットに記載される体験談の内容についてグループワークが行われた。

「権利が守られていなくてモヤモヤしたこと」「みんなの意見や行動で何かが変わった経験」の2点を議題に話し合いが活発に行われた。

権利が守られていなくて、モヤモヤしたこと

- 学校のネット回線悪すぎて授業中困る。 ●ある部活が強いから調子乗っている。
- どこかの学年がエレベーターの違反をすると、全学年エレベーターが使えなくなる。
- 服装自由と言われた校外学習で服装の色(3色ほどのパーカー)がギラギラしすぎていると言われ、怒られた。
- 1、2年前まではバレー部やゴルフ部があったけど、コーチが定年退職により、廃部になった。
- 先生が依怙鬨員にしているとじゃない生徒の差が違いすぎる。
- 先生に決定権があったこと。 ●見えてないからか？よけてもぶつかってくる人がいた。
- 生徒総会の時に意見を伝えても解答がないこと。
- 見てないだろうと思ってやっている小さないたずら、嫌がらせは大体気づいている。
- 先生によって成績のつけ方が違う。他のクラスの平均80なのに自分のクラスは30。
- 校則を変えてほしいのに取りあってくれない。 ●学校の課題が多すぎて予習ができない。
- 障害者のクラスメイトがいじめられていた。 ●先生たちにボイコットしたら拒否された。
- 先輩がカートにボールを入れるまで、後輩は入れられない。
- 文化祭で部活のポスターを貼る位置が決まっていたのに、小さい部活だからと目立たない場所に当日移動させられた。
- 直接差別ではないけれど、性的マイノリティや人種を冗談で使えるワードのようにしている。
- 学校のダンス部の合宿に中2以上からしか行けないこと。
- 生徒によって明らかに接し方を冷たくする先生がいたときがあった。
- 小さいころに通っていたそろばん教室で自分よりも年下の女の子が「そろばん教室に通うのは嫌だけれど、来ないと親に怒られ、夕食抜きにされる」と泣いていて、自分は驚くことしかできなかった。
- 「いじめ」について問題になって、先生が呼び出されて事情聴取になったとき「その子と仲良い数人が言っていた」という言い方のせいで誤解を招いたこと。
- 「～さんのおかげで守られてた」「～さんのおかげでどうにかなった」だから守ってあげてと強制されたこと。
- けんかをした時に相手の話しか聞かなかった。
- 人によって態度を変える先生。 ●明らかにわざと白杖をけられた。
- 秘密にしていたことを勝手に他の人にばらされた。 ●黒人差別されていた。(からかいで)
- 進路についてよく思いつかなくて、用紙の提出期限に遅れた時「進路に興味なさすぎ」と言い訳すら聞いてもらえず、怒られたこと。
- 授業中、先生がみんなに対して質問をする時、誰も答えなかった体験。
- 習い事で先生に意見を言った子が、ほぼさらし上げのような状態にされていた。
- 学校でだされた課題を違う先生に出したら、課題を出した先生がおこったこと。
- 学校を休みたい時(体調不良で体が辛い時など)に親に強制されて学校に行かされたこと。
- クラスで出た案を1つにしぼる時に、周りの人と意見が違って、自分の意見を言えなかった。

みんなの意見や行動で何かが変わった経験

- グループワークとかで自分の意見を否定されるのが怖かったけど、「人の意見を否定しない」というルールができて、自信を持って言えるようになった。
- 部活動で使うボールがボロボロになったことを先生に相談したら新しくしてくれた。
- 紙を使った目安箱から、みんなで話し合い、WEBアプリを作ったことで、目安箱の票数が2～3倍になった。
- お昼ご飯がこれまではパンの自販機しかなかったが、生徒からの要望で業者からお弁当を仕入れてもらえるようになった。
- 門限を高校生になったので遅くしてもらった。
- 合理的配慮が義務になった。
- 奨学奨励費が拡充された。
- 点プロが増えた。
- 紙の予定表がウェブで見れるようになった。
- 宿題をデジタル化したい→ウェブ版
- 文化祭で生徒たちが1クラスあたりの予算が上げることができた。
- 文京区に東大の方面には自習室(公的な)があるのに自分がいる場所は全く無いことを訴えたら自習室が解放された。
- 人気があった先生を辞めさせないために署名をして、残った。
- 英語の担当教師の授業のやり方に不満があった友達が三者面談で担任に報告したら少し改善された。
- 合唱祭の練習のとき、朝や昼休みに練習をしよう!と友達と提案したらみんなが賛成してくれた。
- 小学校の体育館利用時は、高学年の人がいるとそれ以下の学年が使いづらいことを伝えたら、学年別で利用できる日にちを分けるようになった。
- 学校で現金を忘れた時に飲み物が買えなくて困る生徒が多くて先生に相談したら電子マネーでかえるようになった。
- 私たちの意見で夏にポロシャツができた。
- 学校指定の靴が新しくなった(軽くなった)。
- 小学校の授業で考えた案が実際に採用された(給食でお米の食べ比べをすることになった)。
- ある日、早めに学校に行ってみたら、朝から自分の席で勉強している学生がいて、そこから毎日早めに学校に行くようになった。
- 新しく出来た学校の建物の名称を生徒達の案の中から選び、私たちのクラスの案が採用された。

5 クリアファイルについて

前回実施されたアンケートにより、周知啓発ノベルティは「クリアファイル」と「消しゴム」に決定した。

今回はクリアファイルの見本を元に、デザインや機能について意見交換をした。

啓発クリアファイルについての意見

【全体】

- かわいいのがいい
- よびかけ（注目してもらえるように）
- こどもの権利の説明をいれる
- 電話番号、事業の紹介がない方が使いやすい
- ポジティブな言葉選び/ポジティブなデザイン・イラスト
- 人気のキャラクターとコラボさせたら中高生も目を引くきっかけになるかも

【文字】

- 文字を少なめ！
- 文字が少ない方が良い
- 文字の主張が強すぎない
- 文字いっぱいよりもイラスト
- 見やすい字の大きさ、ふりがな
- 文字が協調されすぎていないもの
- 文字量が多いとデザイン性が気になる？
- 目的を意識しすぎるがあまり、文字数が多いのは避ける
- 文字の目の付きやすさより普段使いでふと目が留まるくらいの文字のシンプルさがいい

【透明度】

- 中身がみやすいもの
- 片面色付き、片面透明
- 中身は少し見えるくらい
- 基本透明なものが良い
- 透明感がある方がいい
- 中の紙が透けないデザインが良い！
- 一部分だけでもクリアな方がいい（4票）
- プライバシーが重要だから（「No Looking」）
- 周りの中が見えなくて、一部分に透明な窓をつけて中に何がまいているかわかるようにしたい。

【色について】

- 色は薄ピンク
- 目立つ色
- 色を鮮やかにしない（2票）
- カラフルすぎない

【イラスト】

- キャラクターを入れる
- あまり絵がないのがいい（2票）
- 表紙はシンプルな単色（イラスト）
- イラストが少しある方が使いやすい
- イラストを大きく、かわいい方が良い
- 大衆受けしそうなキャラクターを作ってみる
- ゆるきゃらっぽいテイストなら使いやすそう（4票）
- 一面はキャラクターが描かれている絵にすると学校でも使いやすい！（文字だけは少し使いづらい）
- こどもの権利のイメージと合うようなイラストやデザインを考え、いろんな色を加え、おしゃれな感じ



啓発クリアファイルについて話し合っている様子